

実技評価の方法

講師による実技評価は、研修科目「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」の中で、介護技術の習得度について各細目ごと評価チェックリストを使用し、演習時間内に評価を行う。チェックリストの「A判定」を6割以上で合格とする。ただし、「C判定」があった場合は不合格とする。不合格となった場合は、補講の上、再度評価を行い、基準を満たすまで繰り返す。
評価担当講師：各細目の指導担当講師

【実技評価基準等：生活支援技術の習得度評価シート】

『技術の習得度評価項目』

※チェック項目の評価基準

A：できる B：どちらともいえない C：できない

9⑥ 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護

■「衣服の着脱の支援技術」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし、同意が得られるような声かけができたか。			
③	着替えの衣服は利用者を選んでもらうことができたか。			
④	「脱健着患」の原則に基づいて、まひ側に立って介助できたか。			
⑤	利用者ができることは、利用者が行うように支援できたか。			

9⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

■「ボディメカニクスに関する基礎知識」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	支持基底面を広くとることができたか。			
②	対象（利用者）にからだを近づけ、重心を近づけることができたか。			
③	対象（利用者）を小さくまとめることができたか。			
④	重心を低くし、てこの原理を応用することができたか。			
⑤	足先を移動する方向に向けることができたか。			
⑥	安全と安楽な移動・移乗ができたか。			

■「体位変換の支援技術」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし利用者の意思を尊重し、同意が得られるような声かけができたか。			
③	介助しやすいようにベッドの高さを調整しボディメカニクスを活用できたか。			
④	利用者の健側から適切な介助方法により安全で安楽な体位変換ができたか。			
⑤	ベッドを元の高さに戻し、寝心地や体調の確認ができたか。			

■※まひがある場合の留意点の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	側臥位になる際、まひ側を下にしないようにできたか。			
②	利用者の腕を健側を上にして組むことができたか。			
③	利用者の膝を立てる際、倒れやすいまひ側をサポートすることができたか。			
④	健側の支持をせず、利用者ができることは、利用者が行えるように支援できたか。			
⑤	利用者のペースにあわせて見守る声かけができたか。			

■「車いすの移乗の支援技術(ベッドから車いす)」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし、利用者の意思を尊重し、同意が得られるような声かけができたか。			
③	車いすの点検（タイヤの空気は十分か、ブレーキは正しく効くか、グリップ、アームサポート、フットサポートなどがしっかりしているかなど）を行い、安全が確認できたか。			
④	利用者が安定した座位をとれているか、足底の確認ができたか。			
⑤	安全に移乗できる位置に車いすを配置し、駐車用ブレーキがかかっていること、フットサポートが上がっていることを確認できたか。			
⑥	移乗の際、自立を促す声かけと膝折れ防止等の適切な介助ができたか。			
⑦	車いすへの移乗後、深く座っているかなど体勢、体調の確認ができたか。			

9⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

■「食事の支援技術」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし、同意が得られるような声かけができたか。			
③	利用者の意向や意思を尊重しながら介助できたか。			
④	いすの高さ、テーブルの位置、姿勢が適正になるよう介助できたか。			
⑤	利用者のペースに合わせ水分からすすめ、食事ができるように配慮できたか。			

9⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

■「清拭の支援技術」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし、同意が得られるような声かけができたか。			
③	温度確認を自分の腕で確認後、利用者へもしてもらったか。			
④	プライバシーに配慮し、抹消から中枢に向け平均した力で行ったか。			
⑤	乾いたタオルで水分をおさえるように拭き取ったか。			

9⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

■「おむつ交換の支援技術」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし、同意が得られるような声かけができたか。			
③	プライバシーに適宜配慮した介助ができたか、露出時間を少なくするよう配慮したか。			
④	介助の際、ボディメカニクスを意識し適切な体位変換ができたか。			
⑤	おむつを適切にあてることができたか。（陰部洗浄が適切であったか）			

9⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

■「シーツ交換の支援技術」の習得度評価シート

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	利用者の健康状態（体調など）の確認ができたか。			
②	これから行う介助について説明をし、同意が得られるような声かけができたか。			
③	シーツを均等に広げることができたか。			
④	シーツをたたむことができたか。			
⑤	ベッドの高さの調整はできたか。			
⑥	しわやたるみがなく、しっかりとコーナーを作ることができたか。			

9⑭ 総合生活支援技術演習

■ 事例3 Aさん、81歳、女性、要介護1

場面1 失禁後の後始末から更衣まで

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	更衣することについての説明と同意。(失禁に配慮した声かけ)			
②	衣類の準備。(本人の希望を取り入れる)			
③	失禁後の皮膚の確認。			
④	自力で着脱ができるよう声かけを行う。			
⑤	立位になるときの転倒に注意する。			
⑥	汚れた衣類の後始末。			

■ 事例4 Kさん、88歳、女性、要介護5

場面1 おむつ交換

(評価基準 A:できる B:どちらともいえない C:できない)

チェック項目		A	B	C
①	表情の観察。			
②	介助内容を説明し同意を得る。			
③	プライバシーに配慮している。			
④	必要物品の準備と環境の安全確認を行う。			
⑤	羞恥心や自尊心を理解し、言動に注意し介助する。			
⑥	皮膚の状態観察。			